



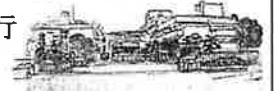
【学校教育目標】

学び合い・認め合い・高め合う  
—学ぶ 磨く 鍛える—

# 吉見中だより

## 4月号

令和4年4月27日発行  
校長 塩原 憲孝



## 思いを形にできる令和4年度にしよう

4月8日、始業式・入学式が行われ、令和4年度がスタートしました。新1年生114名を迎え、全校生徒359名が元気に学校生活を送ることを期待しています。始業式では、新2・3年生が新たな学級・学年の始まりに、大きな期待を抱いている様子を伺うことができました。始業式にあたり、生徒たちに明治の文豪、島崎藤村の言葉を贈りました。



クラス発表風景

～始業式 校長の言葉より～

「人の世には三智がある。学んで得る智、人と交わって得る智、自らの体験によって得る智がそれぞれある」というのがあります。

「智」とは、人や物事の善悪を正しく判断する知恵とか知識のことです。また、知識や知恵をもとにさらに深く学習したり、善悪やことの良し悪しを判断したり、自分のことばで表現したりすることも含まれます。みなさんがこれからの社会を生き抜くために必要な「生きる力」にも通ずるものです。

「学んで得る智」とは、授業や読書、新聞、テレビ、インターネット等から学んだりするだけでなく、自ら学ぼうとする意欲があつてはじめて得られる智です。

「人と交わって得る智」とは、友だちの意見や考えを聞いたり、話し合ったりしながら得る智のことです。

「自らの体験によって得る智」とは、いろいろな行事や部活動、体験学習などで、自分から進んで挑戦することで得られる智です。

この文は、さらに「さういふ自分は今日に行き詰まってるばかりでなく、出発のそもそもからすでに行き詰まっていた。でも、歩いて出るときに道が開けた。地に触れるたびに生き返った。」と続きます。

みなさんは、時に、友だちとの関係がギクシャクして悩んだり、心配したりします。いくら勉強しても、部活動に打ち込んでも、努力が報われないこともあります。しかし、たくさんの人との出会いが、臆病な自分を変えてくれたり、いろいろな体験から感動を得たりすることもあります。ちょっとした勇気を出すことで、「智」を得ることができるのではないのでしょうか。何もことを起こさなければ、何も得るものはありません。本年度は、自分で決めたことに自信をもって行動して、この「三智」を手に入れてほしいと思います。



令和4年度始業式

入学式は、昨年度同様に、新入生、保護者、教職員のための式となりました。たくさんのご来賓の臨席を賜り新入生の門出をお祝いしていただきたかったのですが、残念です。今後、学校行事等で生徒の活躍をご覧いただければ幸いです。式では、やる気に満ちた目の輝きやしっかりとした返事、凜とした態度はとても立派でした。義務教育最後の3年間、一生懸命勉学に励み、運動を楽しみ、そして多くの仲間と有意義な学校生活を送ってほしいと思います。本校には、頼りになる先生ばかりです。困ったとき、悩んでいるときには、きっと温かい手を差し伸べてくれると思います。



第65回入学式



加藤生徒会長より「歓迎の言葉」



「新入生代表の言葉」栗原さん



中学校は、「自立」を育てる場です。今まで家族や先生、友だちなど、他者から支援を受けて、生活してきました。大人への階段をしっかりと上ることができるよう、自分の行動に責任を持ったり、困難から逃げるのではなく、果敢に挑戦したりすることで自らの将来を切り拓いてほしいと思います。学校では、できるだけ多く、自分で考え、判断し行動することができる機会を設けています。その機会を逃さず、自分の成長に生かしてほしいと思います。

**令和4年度当初人事異動で7名の教職員が転退職されました。新天地でのご多幸・ご活躍をお祈り申し上げます。また、新たに5名の教職員を迎えることができました。よろしくお願いいたします。**

**○転退職された教職員**

教諭 柳 一成 先生 嵐山町立菅谷中学校へ  
 教諭 神田 泰佑 先生 東松山市立南中学校へ  
 講師 太田 俊雄 先生 越生町立越生中学校へ  
 教諭 館野 知恵 先生 私立開智中学・高等学校へ  
 教諭 宮崎 悠衣 先生 退職  
 教諭 柿沼 匡志 先生 吉見町立西小学校へ  
 ALT カーロ ガンボア 先生 退職

**○新転入された教職員**

教諭 長岡 遼 先生(数学) 鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校より  
 講師 岩淵 節子 先生(英語) 坂戸市立住吉中学校より  
 教諭 山下 隼平 先生(保体) 吉見町立西小学校より  
 教育支援員 森田 茂 先生(国語) 新規採用  
 ALT ショシュア レッドマン 先生(南アフリカ)

## 本年度の学校経営について

**○学校教育目標**

「学び合い・認め合い・高め合う」  
 一学ぶ 磨く 鍛える

**○めざす学校像**

～輝きたい(生徒)・磨きたい(教職員)・支えたい(保護者・地域)学校

- (1)思いやりに溢れ、全生徒が光輝く学校
- (2)安心・安全のもと、活気と潤いのある学校
- (3)保護者・地域とともに歩む学校

**○めざす生徒像**

「自分の可能性を信じ、挑戦し続ける生徒」  
 (1)将来の夢や希望を持ち、思いを形にする生徒  
 (2)心身を鍛え、粘り強く挑戦する生徒  
 (3)一人一人が光輝き、互いを尊重し合う生徒

**○めざす教師像**

「個々の力を生かし、組織力・機動力を発揮する教師」  
 (1)自ら資質・能力の向上や使命感の高揚に努め、生徒一人一人を大切に作る教師  
 (2)教育のプロとして自覚を持ち、専門性を磨き、学び続ける教師  
 (3)生徒・保護者・地域の願いや思いに真摯に応える教師

**○学校経営方針**

学校教育目標の具現化をめざすため、教職員個々の資質・能力の高揚を図り、組織力・機動力を発揮し、すべての教職員が参画する学校経営をめざす。

- (1)授業をとらして、生徒一人一人に学ぶ喜び・わかる楽しさを実感させるとともに、自ら進んで課題に立ち向かう力を育む教育活動を推進する。
- (2)「一人も独りにしない」を合言葉に、生徒一人一人のよさ・可能性を伸ばし、生徒が意欲的に活動に取り組む態度を醸成する。

○本校のホームページが開設されています。たよりと合わせてご覧ください。

本校HPアドレス: <https://sites.google.com/view/yoshimichu>  
 右のQRコードからもご覧いただけます。

- (3)自己研鑽に励み、常に学び続け、互いに高め合う教職員集団を形成し、組織力を生かした教育活動を推進する。
- (4)「働き方改革」による教職員の負担軽減の推進、危機管理意識の向上、不祥事防止を徹底する。
- (5)「人は家庭で育ち、学校で学び、地域で伸びる」を合言葉に、家庭・地域との絆を深め、地域に愛される学校、安心・安全な学校づくりの推進する。
- (6)生徒の学び・活動の場の環境を整備し、美しく潤いのある学校をつくる。

**○本年度の重点**

- 1 心豊かな生徒の育成
  - 道徳教育の推進
  - 生徒主体の活動の充実
  - 「進路指導・キャリア教育」の推進
- 2 健康増進・安全教育の推進
  - 生徒・教職員の健康維持の推進
  - 安全教育の推進
  - 体力の向上
- 3 確かな学力の定着
  - 生徒の学習意欲を育み、生徒が学びを楽しむ授業の創造
  - タブレットやICT機器を活用した授業の促進
  - 小中連携教育の推進
- 4 思いやりのある生徒の育成
  - 人権感覚の育成を核とした人権教育の推進
  - 個に応じた教育相談活動の充実
  - 積極的な生徒指導の推進
- 5 「学校運営協議会」を核とした地域との連携
  - 地域とともに育む教育活動の推進
  - 地域の教育力・活力を生かした学校づくり
- 6 学習環境の整備・充実
  - 季節感のある「花いっぱい運動」の推進
  - 言語環境、生活環境の整備・充実

